

大竹貫一 おほたけ かんいち 政治家。安政七年二月十日（一八二九）越後國生れ、昭和十九年九月二十一日（一九四四）没。新潟英書學校卒業。新潟縣議員を経て、明治二十七年衆議院議員（當選十六回）。進歩黨、革新俱樂部所屬。対ロシマ強硬論を唱へ、河野廣中、五百木良三（飄零）、小川平吉等と構和反對國民大會を創りて一世を驚駭せしめ、二十八年の白比谷燒打事件でも中心人物として名を馳せた。昭和七年國民同盟に参加するなど國體明徴運動に活躍。貴族院議員。



著書に『書言々清談』（昭和十八年十一月十日白石歌信造齋社）。